

第20回

執筆者は語る

館内展示期間:2020年6~7月

2019年度に本学専任の先生が
執筆・寄贈された本を ご紹介しています。



【人間科学部／都市生活学科】

江弘毅先生は語る



神戸と洋食

091
314

2017年にこの大学に着任してすぐの5月に、神戸開港150周年を記念する「神戸松蔭土曜講座」で、「ミナト神戸の洋食とその系譜」というタイトルで講演しました。そのすぐあとに神戸新聞総合出版センターから出版オファーがあり、それから1年以内に神戸市立博物館など複数の施設から(500人を超える参加者の市民大学もありました)同様の講演依頼がありました。

「この本はイケる」。神戸新聞の編集者とそんな期待を共有しながら執筆をすすめ写真を集めたりすると同時に、都市生活学科の新カリキュラムでの19年前期の「神戸の食と文化」が始まりました。その講義の数回分は、開港以来独特の発展の仕方での日本の洋食に影響を与えた神戸の洋食についての研究だったのですが、神戸の街場の洋食店では、伝統的なカレーライスやビフカツ、料理に使われるデミグラスソースなどが注目され、他所の街にない大人気を博していました。「もう一度、現在進行系の神戸の洋食を取材してみよう」。そう思い、街に出て洋食店を取材しました。なので、最初の講演から出版まで1年半以上かかってしまいました。その甲斐あり書評にも紹介されたりで、地元神戸の書店では今なお平積みのベストセラーになっています。